【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和6年10月17日(2024.10.17)

【公開番号】特開2023-78517(P2023-78517A)
【公開日】令和5年6月7日(2023.6.7)
【年通号数】公開公報(特許)2023-105
【出願番号】特願2021-191669(P2021-191669)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04(2006.01)
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　６０２Ａ
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ
Ａ６３Ｆ　5/04　６９１Ｅ
Ａ６３Ｆ　5/04　６１１Ｂ
Ａ６３Ｆ　5/04　６５０

【手続補正書】
【提出日】令和6年10月8日(2024.10.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技に供することが可能な遊技価値を送信可能な特定ユニットと接続可能な扉を有する遊技機であって、
前記扉は、
遊技価値数を表示する表示装置と、
前記遊技価値数の少なくとも一部を前記特定ユニットに送信するための操作を受け付ける計数スイッチと、
を含み、
前記表示装置は、前記遊技価値数を表示する複数のセグメントを有する表示器を含み、
前記計数スイッチは、押下面部を有するボタン部を含み、
前記ボタン部の周囲には、前記計数スイッチの機能を示す少なくとも２つの文字部が表記されており、
前記遊技機は、
外レールと内レールとの間の領域であって、発射された遊技球を遊技領域に案内する案内領域と、
遊技球が前記遊技領域から前記案内領域に戻ることを防止する球戻り防止機構と、
を備え、
前記球戻り防止機構は、第１状態と、第２状態と、第３状態と、に変位可能な変位部材を有し、
前記変位部材は、前記外レールと対向する側面部と、前記側面部の先端側の先端部と、を有し、
前記先端部から前記外レールまでの距離を特定距離とし、
前記案内領域から前記遊技領域に案内される遊技球を第１遊技球とし、
前記遊技領域から前記案内領域に戻ろうとする遊技球を第２遊技球とすると、

前記第１状態は、前記特定距離が前記第２状態より短い状態であり、
前記第２状態は、前記特定距離が前記第１状態より長い状態であり、
前記第３状態は、前記第１遊技球が前記側面部と前記外レールと前記第２遊技球と接し、前記第２遊技球が前記先端部と前記外レールと前記第１遊技球と接することで、前記特定距離が前記第１状態より長く前記第２状態より短く、かつ、前記第２遊技球の最下点から前記外レールまでの距離より短い状態であることを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記課題を解決するために、本発明の遊技機は、遊技に供することが可能な遊技価値を送信可能な扉（例えば、扉、前枠）を有する特定ユニットと接続可能な遊技機であって（例えば、段落００８８、段落００９０、図１１、図１２、段落０１４０を参照）、前記扉は、遊技価値数を表示する表示装置と、前記遊技価値数の少なくとも一部を前記特定ユニットに送信するための操作を受け付ける計数スイッチと、を含み（例えば、段落００９０、段落０１０７、図１２、段落０１４３を参照）、前記表示装置は、前記遊技価値数を表示する複数のセグメントを有する表示器を含み（例えば、段落００５２、段落０１４２、図４、図５を参照）、前記計数スイッチは、押下面部を有するボタン部を含み（例えば、段落００５４、図４、図５を参照）、前記ボタン部の周囲には、前記計数スイッチの機能を示す少なくとも２つの文字部（例えば、「短押し／１玉」および「長押し／２５０玉」）が表記されており（例えば、段落００６４、段落０１４３を参照）、前記遊技機は、外レールと内レールとの間の領域であって、発射された遊技球を遊技領域に案内する案内領域と、遊技球が前記遊技領域から前記案内領域に戻ることを防止する球戻り防止機構と、を備え、前記球戻り防止機構は、第１状態と、第２状態と、第３状態と、に変位可能な変位部材を有し、前記変位部材は、前記外レールと対向する側面部と、前記側面部の先端側の先端部と、を有し、前記先端部から前記外レールまでの距離を特定距離とし、前記案内領域から前記遊技領域に案内される遊技球を第１遊技球とし、前記遊技領域から前記案内領域に戻ろうとする遊技球を第２遊技球とすると、前記第１状態は、前記特定距離が前記第２状態より短い状態であり、前記第２状態は、前記特定距離が前記第１状態より長い状態であり、前記第３状態は、前記第１遊技球が前記側面部と前記外レールと前記第２遊技球と接し、前記第２遊技球が前記先端部と前記外レールと前記第１遊技球と接することで、前記特定距離が前記第１状態より長く前記第２状態より短く、かつ、前記第２遊技球の最下点から前記外レールまでの距離より短い状態である（例えば、段落０１３１－段落０１４０を参照）。